

2022年度（令和4年度）
「福山市次世代育成支援対策推進行動計画」
年次報告書

計画期間：2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）

2023年（令和5年）5月

福山市

— みんなで創る すべての子ども・子育てにやさしいまち ふくやま —

目 次

総 括	1 頁
2022 年度（令和 4 年度）目標値設定事業の 実績値の報告	2 頁
具体的な事業の実施状況報告書	5 頁

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

基本理念

みんなで創る すべての子ども・子育てにやさしいまち ふくやま

基本目標

心豊かに安心して子どもを産み育てられ、
子どもたちが健やかに成長できる福山の実現

基本方針

5

基本施策

20

2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）

計画及び実績

2021年度計画

【個別事業数】 144（重複を除く）
うち数値目標設定事業 27
（43指標）

2022年度実績

【個別事業数】 145（重複を除く）
うち数値目標設定事業 27
（43指標）

2022年度（令和4年度）実施状況及び計画の総括

●2022年度（令和4年度）については、事業は概ね着実に実施されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染防止策を徹底するとともに、オンライン対応等により実施したが、一部事業については実施が困難な状況がみられた。また、新規事業として伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う「出産・子育て応援事業」を追加した。

●今後も、基本目標である「心豊かに安心して子どもを産み育てられ、子どもたちが健やかに成長できる福山の実現」に向け、事業の集中的・計画的な実施に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により実績が低調な事業については、目標達成に向けた取組の見直しや更なる推進が求められる。

2022年度（令和4年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	計画 現状値	実績値	目標値
基本方針1 子育て家庭に対する支援の充実				
1-2-1 ふくやま子育て応援センター「キッズコム」 ネウボラ相談窓口と連携を図りながら育児総合相談を行う。	相談件数	2018年度 2,670件	2022年度 1,557件	2024年度 3,000件
1-2-2 地域子育て支援拠点事業 保育所を拠点として、家庭で子どもを保育している保護者の子育てを支援する。	実施箇所数	2018年度 33か所	2022年度 36か所	2024年度 38か所
1-2-3 ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と応援したい人が会員となって子育てを地域で支える活動を実施。	ファミリー・サポート・センター協力会員数	2018年度 208人	2022年度 246人	2024年度 230人
1-2-5 短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) 家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に実施。	ショートステイ・トワイライトステイ実施施設数	2018年度 2か所	2022年度 3か所 (内1か所は里親委託)	2024年度 2か所
1-2-7 子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室の推進) 小学校の図書室や空き教室などを利用し、地域住民のボランティアによる支援のもと、放課後の居場所づくりを実施。	放課後子ども教室設置か所数	2018年度 41か所	2022年度 23か所	2024年度 50か所
1-3-1 保育サービスの充実 丁寧な利用案内及び適切な利用調整で、待機児童がゼロになるよう努める。	保育所等利用待機児童数	2018年度 0人	2022年度 3人	2024年度 0人
1-5-6 子ども健全育成支援事業 課題を抱える家庭の子どもと親の課題解決に向けた支援に取り組む。	個別支援件数	2018年度 249件	2022年度 131件	2024年度 280件
1-6-2 女性雇用対策事業等 ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度により、子育てに優しい企業の取組を促進する。	認定企業数	2018年度 114件	2022年度 141件	2024年度 170件
1-6-3 両立支援セミナー 仕事と家庭の両立支援に関心のある企業を集めたセミナーや説明会を開催する。	セミナー参加者	2018年度 76人	2022年度 事業廃止	2024年度 100人
1-6-4 学習・啓発事業 家庭生活、職業生活とその他の活動が両立できるまちづくりをめざし、広報・啓発活動に努める。	講座・セミナー等への男性の参加割合	2018年度 32.9%	2022年度 41.7%	2024年度 40.0%

2022年度（令和4年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	計画 現状値	実績値	目標値
基本方針2 安心できる母子保健の推進				
2-1-1 子育て支援ボランティア事業	子育て支援ボランティアの登録者	2018年度	2022年度	2024年度
キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)の登録と養成/市保健師と連携し、家庭訪問を行う。		73学区 (78学区)	67学区 (69学区)	1学区1名以上
2-1-2 母子健康手帳の交付	妊娠11週以下での妊娠届出率	2018年度	2022年度	2024年度
妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録等、母子が自らの健康管理に活		87.9%	96.2%	100.0%
2-1-5 妊婦健康診査	延受診件数	2018年度	2022年度	2024年度
医療機関に委託し、診察、検査、保健指導等を実施するとともに、定期受診の必要性の啓発を行う。		49,037件	42,361件	44,737件
2-1-6 妊婦歯科健康診査	妊婦歯科健康診査受診率	2018年度	2022年度	2024年度
歯科医療機関に委託し、歯科健康診査及び保健指導を実施するとともに、受診の必要性と事業の周知啓発		39.6%	46.1%	45.0%
2-1-10 こんには赤ちゃん訪問事業	生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問率	2018年度	2022年度	2024年度
保健師、育児家庭訪問員、キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)が訪問を行う。		94.5%	96.6%	100.0%
2-2-4 養育支援訪問事業	訪問件数	2018年度	2022年度	2024年度
医療機関等との連携を図りながら支援する。		119件	99件	129件
2-2-9 乳幼児健康診査	1歳6か月児健康診査受診率	2018年度	2022年度	2024年度
個別健康診査(乳児一般と4か月児)、集団健康診査(1歳6か月児と3歳児)		95.7%	93.0%	97.5%
	3歳のむし歯がない子の割合	2018年度	2022年度	2024年度
		90.1%	90.4%	91.0%
2-2-10 予防接種	麻しん風しん定期予防接種の接種率	2018年度	2022年度	2024年度
子どもの疾病予防のため、予防接種の勧奨及び情報提供		95%以上	1期 92.7% 2期 92.1%	95%以上
2-2-11 思春期の保健対策	最近1か月以内の喫煙率(中学2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
小中学生の喫煙・飲酒防止教育の実施/性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発		0.0%	0.0%	0.0%
	最近1か月以内の喫煙率(高校2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		0.4%	0.4%	0.0%
	最近1か月以内の飲酒率(中学2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		1.2%	1.2%	0.0%
	最近1か月以内の飲酒率(高校2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		2.4%	2.4%	0.0%
2-3-1 食育推進事業	朝食を欠食する習慣のある児童(5歳児)	2017年度	2017年度	2024年度
子どもに望ましい食生活を身につける啓発		4.6%	4.6%	0.0%
	朝食を欠食する習慣のある児童(小学6年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		7.1%	7.1%	0.0%
	朝食を欠食する習慣のある児童(中学2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		13.4%	13.4%	0.0%
	朝食を欠食する習慣のある児童(高校2年生)	2017年度	2017年度	2024年度
		15.7%	15.7%	0.0%
	栄養士による食育指導を実施する保育施設数	2018年度	2022年度	2024年度
		14施設	6施設	全施設

2022年度（令和4年度）目標値設定事業の実績値の報告

コード / 事業	指標	計画 現状値	実績値	目標値
----------	----	-----------	-----	-----

基本方針3 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備

3-1-1 子育てに関する講座 公民館やコミュニティセンター・館で実施/親同士の交流や育児情報の交換など、地域・家庭教育の向上を目的とした講座の実施	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」実施回数	2018年度 60回	2022年度 24回	2024年度 90回
3-2-9 小中一貫教育推進事業 義務教育9年間を一体的に捉えた小中一貫教育に取り組む。	再編対象校のうち再編した学校数	2018年度 4校	2022年度 19校	2024年度 19校

基本方針4 子ども等の安全・安心の確保については目標値設定事業なし

基本方針5 援助を必要とする子育て家庭への支援

5-3-12 ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業	受講者のうち中学3年生の高校進学率	2018年度 76%	2021年度 100%	2024年度 100%
5-3-14 生活保護世帯の子どもの大学等への進学支援	大学等進学率	2018年度 36.50%	2022年度 35.3%	2024年度 40.0%
5-3-31 生活保護受給者等就労自立促進事業	就職率	2018年度 73.80%	2022年度 48.9%	2024年度 80.0%
5-3-36 住居確保給付金の支給	給付金受給者の就職率	2018年度 87.50%	2022年度 58.8%	2024年度 100.0%
5-3-40 支援会議による生活困窮者支援のあり方検討	支援検討件数	2018年度 30件	2022年度 0件	2024年度 30件

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
【基本方針1】子育て家庭に対する支援の充実		
基本施策（1）切れ目のない子育て支援の充実		
① 子育て世代包括支援センター事業（基本型・母子保健型併設） [利用者支援事業] 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない相談や助言を行うとともに、母子保健事業、子育て支援事業等が利用できるような必要に応じて、関係機関とともに継続的な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代包括支援センター（ネウボラ相談窓口「あのね」）を13か所設置し、妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行うための体制を継続した。 ●福山ネウボラ相談窓口「あのね」実施か所 13か所 ふくやま子育て応援センター 保育所・認定こども園 6か所 保健事業実施課 5か所 ぬまくま子育て支援センター ●ネウボラ相談件数実績 2020年度 19,660件 2021年度 19,300件 2022年度 20,817件 ※（参考）2021年度：1,608件/月 2022年度：1,735件/月
② 子育てに関する情報発信	電子版母子健康手帳としての機能を持つ、福山市子育て支援アプリ「あのねナビ」を通じて、市の子育て支援情報や、子育てに関するイベント、遊び場の情報発信に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●2023年3月31日現在 ユーザー数 7,835人 ●市の子育て支援情報や子育てに関するイベント情報について、アプリから配信した。 ●新型コロナウイルス感染症に関する給付金等のお知らせについても、アプリを用いて配信した。
③ 子育て情報誌の発行	「あんしん子育て応援ガイド」を発行するなど、様々な子育て支援事業についてタイムリーかつ見やすさ、わかりやすさに配慮した情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●「あんしん子育て応援ガイド」を作成し、出生届を提出した人や保育施設等に配付した。 発行部数：33,000部
④ あのね手帳の活用	相談者一人ひとりの現状やニーズに応じたアドバイス、各事業の利用プランなどを記入できる手帳を活用し、相談の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●母子保健手帳交付時に活用方法などを説明している。 2022年度 母子健康手帳交付数：3,404冊 ●あのね手帳に、学区担当保健師、ネウボラ相談員の連絡先を明記し、いつでも気軽に相談できる仕組みになっている。
基本施策（2）地域における子育て支援サービスの充実		
① ふくやま子育て応援センター「キッズコム」	子育て親子の交流の場の提供、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、出産・子育てに関する講習等を実施し、ネウボラ相談窓口と連携を図りながら育児総合相談を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業において子育て家庭を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年度 相談件数 1,557件（2,382件）※ 情報提供数 4,741件（5,018件）※ （ ）内は、2021年度 ※地域子育て支援拠点事業に関する件数 ●講座やひろばでは、保護者同士をつなげることで悩みなどの意見交換ができ、育児の不安が軽減された。 ●妊娠期から安心して子育てができる相談場所を知らせることで不安の軽減につながった。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
<p>② 地域子育て支援拠点事業</p> <p>「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業</p>	<p>「キッズコム」や地域の拠点保育施設が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談・援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施するなど、子育て家庭を支援します。</p>	<p>●「キッズコム」や地域の拠点事業所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談・援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施。また、家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。</p> <p>●地域子育て支援拠点実施か所（36か所） 一般型 6～7日型 市立（キッズコム） 1か所 私立（いくたす） 1か所 5日型 市立 6か所 私立 4か所 3～4日型 私立 24か所</p> <p>●実績値 実施か所数 36か所 利用量 131,764人／年</p>
<p>③ ファミリー・サポート・センター事業 （子育て援助活動支援事業）</p> <p>「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業</p>	<p>子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支える活動を実施しています。 協力会員、両方会員の確保に努めるとともに、子育て世代包括支援センターなどと連携し、多様化するニーズに対応しながら地域の子育てを支援します。</p>	<p>●活動内容の希望に添えるよう、丁寧に把握し、相互援助活動がスムーズにいくよう努めた。</p> <p>●活動 延べ件数 2,416件（2,588件）（ ）内は2021年度 主な活動は、保幼の迎え及び預かり、習い事等の援助、学童の送迎</p> <p>●2023年3月末 会員数 依頼会員 776人（745人） 協力会員 172人（162人） 両方会員 74人（73人）（ ）内は2021年度</p> <p>●実績値 <低学年>（延人/年： 918人） <高学年>（延人/年： 242人）</p>
<p>④ えほんの国</p>	<p>地域の子育て家庭が、絵本やおはなしの世界に親しむ場を設定することにより、親子のふれあいによる情緒の安定を図り、創造性やコミュニケーション能力等を育み、子どもの育ちを支援します。</p>	<p>●延べ利用者数 29,164人（18,786人） （ ）内は2021年度</p> <p>・毎日（午前・午後）2回の読み聞かせ ・ワークショップ・司書講座・コンサート・人形劇等の参加者を含む</p> <p>※2021年5月1日から天満屋7Fで開始</p>
<p>⑤ 短期入所生活援助事業 （ショートステイ・トワイライトステイ）</p> <p>「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業</p>	<p>保護者の疾病や疲労、仕事等により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設や乳児院において児童の養育等を行います。</p>	<p>●実施か所 ショートステイ 3か所 福山乳児院（2歳未満） こぶしヶ丘学園（2歳以上） 里親（原則18歳未満） トワイライトステイ 1か所 こぶしヶ丘学園（2歳以上）</p> <p>●利用状況 ショートステイ 福山乳児院 8人 32日 こぶしヶ丘学園 14人 56日 里親 0人 0日 トワイライトステイ こぶしヶ丘学園 0人 0日</p> <p>●実績値 実施か所数 3か所 利用量 22人 88日／年</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績																		
⑥ 放課後児童クラブ事業 (放課後児童健全育成事業) 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に、小学校の余裕教室やプレハブ教室等を利用して適切な遊びや生活の場を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象は市内の小学校に在学する1～6年生（特別支援学級在籍などの児童は6年生まで）であって、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童 ●開設時間 <table border="0"> <tr> <td>学期中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>月～金曜日</td> <td>下校時～18:00</td> </tr> <tr> <td>土曜日</td> <td>8:30～17:00</td> </tr> <tr> <td>長期休業中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>月～金曜日</td> <td>8:30～18:00</td> </tr> <tr> <td>土曜日</td> <td>8:30～17:00</td> </tr> </table> ●実績値 <table border="0"> <tr> <td>【低学年】</td> <td>利用量</td> <td>4,962人</td> </tr> <tr> <td>【高学年】</td> <td>利用量</td> <td>1,125人</td> </tr> </table> 	学期中		月～金曜日	下校時～18:00	土曜日	8:30～17:00	長期休業中		月～金曜日	8:30～18:00	土曜日	8:30～17:00	【低学年】	利用量	4,962人	【高学年】	利用量	1,125人
学期中																				
月～金曜日	下校時～18:00																			
土曜日	8:30～17:00																			
長期休業中																				
月～金曜日	8:30～18:00																			
土曜日	8:30～17:00																			
【低学年】	利用量	4,962人																		
【高学年】	利用量	1,125人																		
⑦ 子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室の推進)	放課後等に小学校の余裕教室や公民館等を利用して、地域住民ボランティアである教育活動サポーターの支援のもと、安全・安心な居場所づくりを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後子ども教室推進事業 放課後などに小学校の図書室等を利用し、地域住民ボランティアである教育活動サポーターの指導のもと交流事業などを実施し、安全・安心な居場所づくりを実施 実施か所数 23か所 																		
⑧ 幼稚園での子育て支援事業	子育て不安の解消を図るため、関係機関との連携を図りながら、育児相談や子育てサークル等の支援、情報提供等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て不安の解消を図るため、関係機関との連携を図りながら育児相談を行った。また、特別な支援を必要とする子どもやその保護者への支援の工夫など関係機関と連携して実施した。 ●各幼稚園で計画していた定期的な未就園児の会は、コロナ禍の影響で活動内容や人数を制限しながら可能な時期のみの開催となった。 ●各園のホームページで、園生活の様子や子育て支援情報を発信し、子育て世代への情報提供を行った。 																		
基本施策（3）保育所その他の施設での保育サービスの充実																				
保育サービスの充実 (保育所入所児童数)	保育を必要とする児童の全員入所、児童一人ひとりの人権を大切にする心を育てる保育の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化に対応できる多様な保育サービスの充実を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●入所児童数 13,025人 ●途中入所による弾力的な入所児童の受入れ ●入所定員の拡大 																		
保育サービスの充実 (延長保育1時間延長) 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	保護者の就労形態の多様化等に伴い保育所の開所時間を超えて保育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●実施か所（自主事業を含む） <table border="0"> <tr> <td>保育所（市立）</td> <td>44か所</td> </tr> <tr> <td>保育所（私立）</td> <td>26か所</td> </tr> <tr> <td>認定こども園（市立）</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td>認定こども園（私立）</td> <td>49か所</td> </tr> <tr> <td>地域型保育事業</td> <td>25か所</td> </tr> </table> 	保育所（市立）	44か所	保育所（私立）	26か所	認定こども園（市立）	2か所	認定こども園（私立）	49か所	地域型保育事業	25か所								
保育所（市立）	44か所																			
保育所（私立）	26か所																			
認定こども園（市立）	2か所																			
認定こども園（私立）	49か所																			
地域型保育事業	25か所																			
保育サービスの充実 (延長保育2時間延長) 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	保護者の就労形態の多様化等に伴い保育所の開所時間を超えて保育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●実施か所 <table border="0"> <tr> <td>保育所（私立）</td> <td>1か所</td> </tr> <tr> <td>認定こども園（私立）</td> <td>3か所</td> </tr> <tr> <td>地域型保育事業</td> <td>1か所</td> </tr> </table> 	保育所（私立）	1か所	認定こども園（私立）	3か所	地域型保育事業	1か所												
保育所（私立）	1か所																			
認定こども園（私立）	3か所																			
地域型保育事業	1か所																			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
保育サービスの充実 (延長保育3時間以上延長) 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて 保育を行います。	●実施場所 3時間延長 保育所(私立) 1か所 4時間延長 認定こども園(私立) 1か所
保育サービスの充実 (休日保育)	保護者の就労形態の多様化に 対応するため、日曜・祝日の保 育を行います。	●実施場所 保育所(市立) 1か所 保育所(私立) 1か所 認定こども園(私立) 4か所
① 保育サービスの充実 (夜間保育)	夜間、保護者の就労等による 保育ニーズへの対応を図りま す。	●私立保育所1か所 (開所時間) 午前8時30分～翌日午前0時
保育サービスの充実 (病児・病後児保育) 「子ども・子育て支援事業計 画」の対象事業	病気の状態(回復期を含 む。)にある児童で、集団保育 等が困難な場合に医療機関に付 設された専用スペースで一時的 に預かります。	●医療機関 4か所 橋高クリニック いぶき小児科 福山市民病院 おひさまこどもクリニック(休止) ●保育施設 1か所 こどもえん つくし
保育サービスの充実 (一時預かり) 「子ども・子育て支援事業計 画」の対象事業	保育所に入所していない就学 前児童を、保護者の傷病・入 院、災害・事故、育児に伴う 心理的・肉体的負担の解消を図 るため、緊急・一時的に預かり ます。	●保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 実施場所 126か所(自主事業を含む。) 保育所(市立) 44か所 保育所(私立) 19か所 認定こども園(市立) 2か所 認定こども園(私立) 42か所 地域型保育事業 18か所 いくたす 1か所
保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善)	老朽化が進行する保育所の大 型遊具の更新、空調設備の整備 及び施設修繕を進めるなど、保 育環境を改善し児童福祉の向上 を図ります。	●保育所改築 1か所 西多治米 ●総合遊具更新 1か所 西多治米 ●空調整備 7か所 松永西、神村、東神村、本郷、柳津、南部、戸手、神村 ●保育室床整備 4か所 川口、長和、引野、広瀬、松永西、柳津、内海 松永西 ●照明整備 4か所 神村北、東神村、東村、本郷、柳津、金江 ●インターホン整備 1か所 川口 ●扇風機設置 4か所 南部、山手、福田、三吉 ●排煙窓整備 1か所 津之郷 ●遮光ネット整備 1か所 多治米、戸手、高西
② 保育人材の確保強化	私立保育施設等に対して、保 育士資格の取得支援、保育補助 者の雇上経費の助成、保育士の 家賃補助を実施し、保育人材の 確保及び定着を図ります。	●保育士資格取得支援事業 0人 ●保育補助者雇上強化事業 125人(56施設) ●保育士確保促進事業(保育士等家賃補助) 5人

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
③ 保育施設・幼稚園の連携，就学前教育・保育と小学校の連携	<p>保育所と幼稚園のそれぞれの特性を活かした多様な保育や教育の提供及び幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため，保育所と幼稚園，小学校間の連携を図ります。</p> <p>また，小学校区内で連携協議会を立ち上げ，計画的・組織的な運営を進めます。</p>	<p>●連携・接続が発展する過程の指標ステップ3（授業・行事・研究会などの交流が充実し，接続を見通した教育課程の編成・実施を行っている。）以上と回答した学校が2021年度18校から2022年度59校と増加している。</p> <p>●連携接続に向けた取組の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区での幼保小合同研修会 72校（100%） ・接続を見通したカリキュラムの編成 70校（97.2%） ・接続を見通したカリキュラムの検討 68校（94.4%） ・連携園所の職員による授業参観 67校（93.1%） ・小義務教育学校の職員による保育参観 64校（88.9%） ・幼児と児童の交流活動（行事，授業等）62校（86.1%） <p>●小学校区を基本とする，229施設が参加する63の連携協議会を設置した。連携協議会の実施回数は，最小2回，最大8回であり，約半数の学校は4回以上実施している。</p>
④ 障がい児保育	※再掲 5-（4）-⑧	
⑤ 外国籍の児童に対する支援	<p>日本語でのコミュニケーションが難しい家庭を対象とし，通訳を介して保護者の相談を受ける個別面談や保護者同士のつながりを深めるための保護者懇談会を実施します。</p>	<p>●46施設に対して28施設に外国籍児童が入所している。合計で59人。（中国・フィリピン・ベトナム・イタリア・ベルギー・オーストラリア・カナダ国籍）今年度は，1施設通訳者の依頼があり，対応した。</p> <p>●ポCKETークやタブレット等の翻訳アプリを活用し，子どもや保護者との会話や意思疎通に努めている。</p> <p>●通訳を交えた個人懇談会が実施できる体制の維持と，遠隔通訳の導入を行った。</p>
基本施策（4）子育て支援のネットワークづくり		
① 子育て支援ネットワーク活動の推進	<p>子育て家庭が安心して子育てできる地域づくりを推進するため，子育て支援ネットワーク委員会において，様々な子育て支援事業について情報を集約し，情報の一元化を行い，あわせて「次世代育成支援対策推進行動計画」の進捗管理を行います。</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催</p>
② 子育て応援ささえあい事業	<p>キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）を中心としたグループが，地域の公民館や集会所等を利用して，子育て中の保護者と子どもが気軽に出席することができる「子育て支援の場」の増設に向けた働きかけを行うとともに，その活動に必要な支援を行います。</p>	<p>●2022年度認定活動 4団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キラキラきらり <ul style="list-style-type: none"> 活動場所 大門公民館ほか 活動内容 親子交流 実施状況 月2回 ・キラキラ子育てサロン万能倉 <ul style="list-style-type: none"> 活動場所 万下会館ほか 活動内容 親子交流 実施状況 月2回 ・キラキラのほほんくらぶ <ul style="list-style-type: none"> 活動場所 沼隈支所ほか 活動内容 親子交流 実施状況 月2回 ・キラキラ子育てサロンぽけっと <ul style="list-style-type: none"> 活動場所 神辺市民交流センターほか 活動内容 親子交流 実施状況 月1回

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
③ 地域全体で子育てを見守り，支え合う活動の推進	子育て家庭の支援のため，子育て支援事業等の情報提供を行うなど，民生委員・児童委員との連携及び業務内容や必要性について広く周知し，地域全体で子育てを見守り，支え合うネットワークづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員が，子育てに関する相談を受け，それぞれの抱える課題に対して，制度，サービス等について助言し，情報提供を行うとともに，適切な関係機関の援助が受けれるよう連絡・調整を行った。 ●地域において児童の健全育成を行う者等と連携し，子育てサークルや子ども会などの児童健全育成に関する活動の支援を行った。 ●児童虐待に関して，市や広島県東部こども家庭センターへ相談や通告など連携を図った。
④ 子育てに関する情報発信	※再掲 1－(1)－②	
⑤ 子育て情報誌の発行	※再掲 1－(1)－③	
基本施策（5）子どもの健全育成		
① 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	※再掲 1－(2)－⑥	
② 子どもの居場所づくり事業（放課後子ども教室の推進）	※再掲 1－(2)－⑦	
③ ふれ愛ひろば	就学前児童と保護者を対象に，福山市自然研修センター（ふくやまふれ愛ランド）で，交流する場の提供や絵本の読み聞かせ，保育士による親子でのふれあい遊び等子育て支援事業を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●遊具を使った自由遊び，夏の水遊び，保育士による「ふれ愛あそび」，ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」など，利用者のニーズに応じた子育て支援事業を実施した 実施回数 233回 参加者数 1,685人
④ 自然研修センター事業（ふくやまふれ愛ランド）	自然環境の中で宿泊研修，野外活動，体験農業，遊びの指導等を通じて，青少年の健全育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●宿泊研修，野外活動，体験農業，遊びの指導などの体験活動を提供した 宿泊利用者 12,878人 1日利用者 18,112人 開所日数 359日
⑤ 地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）	市内に在住，通学する小・中・高校生・大学生等を対象に，地域活動やボランティア活動等への参加・参画を促進する機会を提供・支援し，次世代の担い手の育成に取り組みます。同制度のPRを積極的に行うとともに，より多くの参加が得られるよう，引き続き学校等とも連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●行政等が実施する事業のうち，講座などでの学習・体験やイベントなどにボランティアとして参加した場合に，参加時間数に応じたポイントを付与し，ポイントに応じて特典を設けた。（特典例：公共施設共通利用券，ばら苗，図書カード，映画の無料鑑賞など） まちづくりパスポート事業参加者数 9,572 (2023年2月末現在)

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑥ 子ども健全育成支援事業	<p>地区担当員（ケースワーカー）と家庭・教育支援員をはじめ関係機関と連携し、課題を抱える家庭の子どもと親の課題解決に向けた支援に取り組みます。</p> <p>学習習慣の定着と学習意欲の向上を図るため、生活困窮世帯の児童・生徒に学習の場所を提供し、高校進学をめざすとともに、他者との交流を通じてコミュニケーション能力や社会性、生活習慣の定着に向けた緩やかな居場所を提供します。</p> <p>また、生活困窮世帯の高校生及び保護者がこれからの進路に意欲的に取り組めるよう、「高校中退防止支援」「卒業後の進学及び就職支援」などを行います。</p>	<p>個別支援が必要なケースについては要保護児童対策地域協議会に登録し対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別支援の状況 支援実人数 131人 ●居場所を兼ねた学習支援事業の状況 開設回数 69回 参加延べ人数 920人 ●子どもの生活・学習支援の状況 参加実人数 4人
⑦ 社会環境浄化活動の推進	<p>社会環境浄化調査や啓発を行います。また、行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学区青少年育成員協議会による社会環境浄化調査を実施した ●白ポスト 23学区24基
⑧ 少年相談	<p>青少年の健全育成・非行防止のための相談活動を行い、助言や指導などの適切な対応に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●来所（面接）、電話等で相談を受けた 来所（面接） 3回 電話 8回 その他 0回 計 11回
⑨ 青少年育成自立支援事業	<p>ひきこもりがちで、社会との関係が希薄な若者が自信を取り戻し、社会への第一歩を踏み出すことができるよう、各種体験等を通して、社会活動への参加を促すプログラムを実施し、青少年の自立を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社会体験プログラム 4～3月 43回開催 申込者19人 延参加者391人 ●家族相談会 4回 3家族 3人 ●就労支援プログラム（職場体験） 1人 10日間 ふれ愛ランド内食堂
⑩ ふくやま・ヤングサポートネットワーク	<p>社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を地域において支援するため、青少年育成自立支援事業関係課に加え、NPO法人等民間支援団体とも連携し、分野を横断した有機的な連携を図れるようネットワークの強化を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●講習会とネットワーク構成機関（NPO法人等）の活動紹介 2023年（令和5年）3月21日（火） 本庁3階 講習会 13時～15時、大会議室、参加者60人 活動紹介 15時～16時30分、中会議室、参加団体6団体
⑪ 児童見守り支援事業	<p>支援団体が行う事業を通じて対象児童を見守るとともに、見守り活動への助言等を行うことで見守り体制の強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●支援団体数 5団体

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
基本施策（6）仕事と子育ての両立の推進		
① 就労・再就職支援	<p>ネウボラ相談窓口において、マザーズハローワークやわーくわくママサポートコーナーが行う出張相談などと連携を図りながら、就労支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●わーくわくママ 出張相談 2021年度で終了 ●ネウボラ相談員を対象とした就労研修 参加者数 23人 ハローワークから就労支援に向けての説明をネウボラ相談員が受けた。
② 女性雇用対策事業等	<p>国、県、関係団体と連携し、勤労者及び事業主に対し、男女雇用機会の均等やワーク・ライフ・バランスの実現等に向けた支援について、広報や啓発、研修、情報提供等を行います。また、ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度においては、子育てに優しい企業の取組を促進するとともに、ホームページで発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●WLB認定制度をHP等で周知し、男女共同参画表彰への推薦や、合同企業説明会等各種イベントでのチラシ等による啓発など幅広く活動を行った。また、認定企業専用ののぼりを作成し、合同企業説明会で認定企業であることを求職者にアピールできるようにした。 ●出前講座 4回開催、参加者69人 ●就業環境改善支援事業費補助金 実績 4件 921千円 ●女性向け合同企業説明会（※シニア向けと同時開催） 参加企業30社 参加者78人 ●ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者 141社（2023年3月31日時点）
③ 両立支援セミナー	<p>出産・育児等で離職し、再就職を希望する女性等を支援するため、仕事と家庭の両立支援企業を集めたセミナーや説明会を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年度から事業廃止 （広島県の両立支援セミナーと連携している。）
④ 学習・啓発事業	<p>「福山市男女共同参画推進条例」及び「福山市男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活、職業生活とその他の活動が両立できるまちづくりをめざし、広報・啓発活動に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●男女が共に子育てに関われるよう意識改革を促進するための講座等を実施した 男性の家事・育児等に関する講座 3回 16人 ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者 141事業者（2023年3月31日時点） 男女共同参画推進表彰 1事業者
⑤ 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	※再掲 1－（2）－⑥	
⑥ 子どもの居場所づくり事業（放課後子ども教室の推進）	※再掲 1－（2）－⑦	
⑦ ひとり親家庭自立支援給付金事業	※後掲 5－（2）－④	
⑧ ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	※後掲 5－（2）－⑤	
⑨ ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	※後掲 5－（2）－⑥	
⑩ 母子・父子自立支援プログラム策定事業	※後掲 5－（2）－⑦	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑪ 子育てパパの育児参加促進	官民連携で男性の育児参加を積極的に支援する取組を実施することで、男性の子育てに関わる意識を高め、育児参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●11月3日～23日までの期間で「子育てパパ活躍ウィーク」を実施。従業員への休暇取得・早めの退社を促進し、従業員の家事・育児参加を促進する“子育て応援企業”と、親子で参加できるイベントを実施し、家事・育児に取り組むきっかけとする“連携企業・団体”を募集。 子育て応援企業：9社 約190人 連携企業・団体：7社 約950人 ●男性育児休業取得促進事業補助金 実績0件 ●びんまる男性育休記事 掲載回数12回
基本施策（7）経済的な支援の推進		
① 子ども医療費助成	子どもが病院へ通院又は入院した際の、保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●通院・入院ともに0歳から中学校3年生まで（所得制限あり） ●一部負担金は、1医療機関につき1日500円（入院は月14日まで、通院は月4日まで） 受給者数 54,707人
② ひとり親家庭等医療費助成	※後掲 5-（2）-①	
③ 児童手当	中学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給します。	<ul style="list-style-type: none"> ●支給額（児童1人につき） 【所得制限限度額未満の場合】 0歳～3歳未満：月15,000円 3歳～小学校修了前 第1子・第2子 月10,000円 第3子以降 月15,000円 中学生 月10,000円 【所得制限限度額以上所得上限限度額未満の場合】 児童1人につき、月5,000円支給 【所得上限限度額以上の場合】 支給なし ●受給者数 31,370人
④ 児童扶養手当	※後掲 5-（2）-②	
⑤ 母子父子寡婦福祉資金貸付金	※後掲 5-（2）-③	
⑥ 幼児教育・保育の無償化	認定こども園、幼稚園、保育所などを利用する3～5歳の子ども、住民税非課税世帯の0～2歳の子どもの保育施設等の利用料が無償になります。	<ul style="list-style-type: none"> ●教育・保育給付認定認定者（0～2歳児非課税世帯・3歳児以上） 10,531人 ●施設等利用給付認定認定者 2,042人
⑦ 保育所保育料の多子軽減	兄弟姉妹が同時に保育所等へ入所している児童の保育料について、保護者負担の軽減を図ります。	●同時に同一世帯から保育所、幼稚園、障がい児通園施設などに入所又は児童発達支援、医療型児童発達支援を利用している就学前児童のいる家庭の2人目の児童の保育料を半額、3人目以降の児童の保育料を無料にしている。なお、市民税の所得割額が一定以下の世帯については、保護者と同一生計の2人目の児童の保育料を半額、3人目以降の保育料を無料としている。
⑧ 小児慢性特定疾病対策事業	小児慢性特定疾病に係る医療費の自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●助成内容 小児慢性特定疾病医療に係る保険医療費の自己負担分の一部を助成 なお、医療機関に支払う患者の月額負担限度額は、所得状況により決定 助成件数 8,712件

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名		事業概要	2022年度実績
⑨	未熟児養育医療	出生体重が2,000g以下又は未熟なまま生まれた乳児の状態の改善に必要な、医療費の自己負担分の一部を助成します。	●出生体重が2,000g以下又は未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するため、保健医療費の自己負担分の一部を世帯の所得税等に応じて助成した。 助成件数 310件
⑩	幼児等インフルエンザ予防接種費補助事業	※後掲 2- (2) -⑫	
⑪	自立支援医療（育成医療）費	※後掲 5- (4) -①	
⑫	重度心身障がい者医療費	※後掲 5- (4) -②	
⑬	特別児童扶養手当	※後掲 5- (4) -③	
⑭	障がい児福祉手当	※後掲 5- (4) -④	
⑮	不妊治療費助成事業	※後掲 2- (1) -⑫	
⑯	就学援助費	経済的な理由で就学に必要な費用の支払が困難な場合に、費用の一部を援助します。	●援助の内容は、学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部 認定者 4,909人 ●入学準備費を入学前に支給 認定者 841人
⑰	地域学習活動支援事業（放課後チャレンジ教室、土曜チャレンジ教室）	※後掲 3- (2) -⑭	
⑱	スクールカウンセラー配置事業 ※県事業	※後掲 3- (2) -⑮	
⑲	家庭教育支援アドバイザー活用事業 ※県事業	※後掲 3- (2) -⑯	
⑳	スクールソーシャルワーカー活用事業 ※県事業	※後掲 3- (2) -⑰	
㉑	特別支援教育就学奨励事業	※後掲 5- (4) -⑤	
㉒	特別支援学級保護者付添交通費補助事業	※後掲 5- (4) -⑥	
㉓	ひとり親家庭自立支援給付金事業	※後掲 5- (2) -④	
㉔	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	※後掲 5- (2) -⑤	
㉕	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	※後掲 5- (4) -⑯	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
<p>【基本方針2】安心できる母子保健の推進</p>		
<p>基本施策（1）妊娠・出産期の支援</p>		
<p>① 子育て支援ボランティア事業</p>	<p>家庭訪問等により保護者の話し相手や育児支援ができる子育て支援ボランティア人材の確保に向けて養成講座、フォローアップ研修を開催します。</p>	<p>●全小学校区に1人以上のキラキラサポーター（子育て支援ボランティア）を登録（養成）することを目標に、2003年度から養成を実施した。</p> <p>●2022年度の養成により新規登録者数 8人、全登録者数 216人となり、69小学区中、67小学校区が登録済。</p> <p>●フォローアップ研修や学区保健師との情報交流会を行った。</p>
<p>② 母子健康手帳の交付</p>	<p>ネウボラ相談窓口「あのね」12か所と沼隈支所において、妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録等、母子が自らの健康管理に活用するための母子健康手帳を交付します。</p>	<p>●ネウボラ相談窓口「あのね」13か所及び沼隈支所保健福祉担当で妊娠届を提出した人に交付した（外国語併記も含む）。</p> <p>●9か国語対応（ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンガル・タイ語・インドネシア語・スペイン語・ベトナム語） 母子健康手帳交付数 3,404冊 （再交付含む）</p>
<p>③ 出産・子育て応援事業</p>	<p>妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援に繋ぐ「伴走型相談支援」と「経済的支援」とを一体的に行う</p>	<p>2023年1月20日から事業を開始</p> <p>●実績 出産応援金 4,454件 子育て応援金 2,591件</p> <p>●アンケートによる面談を実施 面談1回目：母子健康手帳交付 2回目：産前面談 3回目：こんにちは赤ちゃん訪問</p>
<p>④ 子育てに関する情報発信</p>	<p>※後掲 1-（1）-②</p>	
<p>⑤ 妊婦健康診査 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業</p>	<p>妊婦が安全に出産するため、医療機関に委託し、診察、検査、保健指導等を実施するとともに、定期受診の必要性の啓発を行います。</p>	<p>●1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検診受診券1枚を交付した。2011年度からは、上記に加えて検査券にHTLV-1検査を追加、クラミジア検査受診券1枚を交付した。</p> <p>●実績値 延受診件数 42,361件</p>
<p>⑥ 妊婦歯科健康診査</p>	<p>妊婦の口腔衛生及び生まれてくる子どもの歯と口腔の健康づくりのため、歯科医療機関に委託し、歯科健康診査及び保健指導を実施するとともに、受診の必要性と事業の周知啓発を行います。</p>	<p>●歯科医療機関へ委託し、歯科健康診査及び保健指導の実施（妊娠中に1回） 受診件数 1,525件、受診率46.1%</p>
<p>⑦ 不育症治療費助成事業</p>	<p>不育症治療に要した費用の一部について、30万円を上限に助成します。</p>	<p>●一次スクリーニング、選択的検査及び不育症治療に要した費用の助成 助成件数 40件</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑧ 風しん抗体検査事業	妊娠を希望する女性とその同居者等を対象に風しん抗体検査を行い、先天性風しん症候群の発生予防と風しんの感染予防に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内147の医療機関で実施 ●実績値 287人
⑨ すこやか育児サポート事業	妊婦を対象に、産婦人科医と保健師が連携し、育児不安の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠中から支援の必要な方に対して、産婦人科と保健師が連携し支援している。 2022年度実績（紹介件数） 68件
⑩ こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業） 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供をするとともに、心身の状況や養育環境を把握します。支援が必要な家庭に対しては、関係機関と連携を図り、継続した支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭訪問時に、予防接種や健診の受け方、相談窓口の紹介を行うとともに、赤ちゃんの絵本の紹介や「あかちゃんといっしょのおはなし会」などの情報提供をした。 ●実績値 訪問件数 3,113件（96.6%） [キラキラサポーター：子育て支援ボランティア 1,068件、育児家庭訪問員 981件、保健師 1,064件]
⑪ 育児支援家庭訪問事業（養育支援訪問事業）	※後掲 2- (2) -④	
⑫ 新生児聴覚検査事業	聞こえのスクリーニング検査である新生児聴覚検査の「初回検査」に係る費用の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●新生児聴覚検査受診票を1枚交付し、費用の一部を助成している。 ●助成件数 3,159件
⑬ 不妊治療費助成事業	一般不妊治療及び特定不妊不妊治療に要した費用の一部を助成します。 妊娠・出産に関する正しい知識の普及のために不妊に関する講演会を実施します。 ・2022年4月～（予定） 保険適用開始	<ul style="list-style-type: none"> ●特定不妊治療（経過措置分） 助成件数 213件 ※2022年4月～保険適用開始 ●一般不妊治療 助成件数 111件 ●生殖補助医療（2022年4月～） 助成件数 395件 ・生殖補助医療（体外受精、顕微授精、男性不妊の手術）に要した費用に対する助成（上限5万円／回） ●大学生を対象にした不妊に関する講演会の実施 実施回数2回 参加者数 411人
⑭ 産後ケア事業	家族等から十分な支援が得られない出産後1年未満までの産婦、乳児に対し産科医療機関等において、宿泊や日帰り又は訪問で母体の体調管理、育児指導等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●産科医療機関・助産所で実施している。 ●実績値 宿泊型 9件 デイサービス型 4件 訪問型 5件

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑮ 産後ヘルパー派遣事業	家族等から十分な支援が得られない出産後4か月までの産婦、乳児に対しヘルパーが家庭を訪問して、家事や育児の支援を行います。	●事業は終了し、状況に応じて養育支援訪問事業 2- (2) -④ にて実施した。
⑯ 産前・産後サポート事業	産前及び産後4か月の間の妊産婦に対し、子育て経験者等が家庭を訪問して、話し相手となり、妊娠・出産・子育てに関する情報提供等を行います。	●キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）による訪問支援を行う。 ●実績値 4件
⑰ 産婦健康診査	産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の助成を行います。	●2021年4月から助成を実施。 産後2か月未満の産婦の健康診査に係る費用の一部または全額を公費負担する。 エジンバラ産後うつ質問票（EPDS）等を実施。 ●実績 5,303件
基本施策（2）乳幼児期・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実		
① 母子健康手帳の交付	※再掲 2- (1) -②	
② 子育てに関する情報発信	※再掲 1- (1) -②	
③ すこやか育児サポート事業	※再掲 2- (1) -⑧	
④ 養育支援訪問事業 「子ども・子育て支援事業計画」の対象事業	養育上の支援が必要な家庭に対して、養育が適切に行われるよう、保健師等が訪問し、①専門的相談支援や②育児・家事援助を行います。	●こにちは赤ちゃん訪問事業等により把握した、養育支援が特に必要であると判断される家庭に対し、その養育が適切に行われるよう、当該居宅において①養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行う、専門的相談支援と、②委託事業所からヘルパーを派遣する、育児・家事援助を行った。 また、必要に応じて、医療機関や要保護児童対策地域協議会等関係機関との連携を図りながら支援している。 ●実績値：①専門的相談支援 99件 ②育児・家事援助 7件
⑤ 乳幼児の事故防止	不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐため、保健事業をはじめとしたあらゆる機会や情報媒体を通じて、保護者への具体的な事故予防のための周知啓発を行います。	●母子健康手帳交付時に、副読本等で事故防止について周知している。また、健康教育でも乳幼児の事故防止について啓発した。
⑥ 食育推進事業	※後掲 2- (3) -①	
⑦ 母子の健康教育	離乳食講習会、乳幼児歯科教室や地域等からの依頼に基づき健康教育を行います。年齢、季節、子どもを取り巻く環境の変化等に応じて、乳幼児期の健康や望ましい生活習慣を確立するための普及啓発に努めます。	●離乳食講習会 全期編：実施回数25回 参加者数344人 後期・完了期編：実施回数5回 参加者数53人（2022年4月～） ●乳幼児歯科教室（親子歯っぴい教室） 実施回数 6回 参加者数 103人
⑧ 乳児健康相談	乳児健康相談やネウボラ相談窓口「あのね」での相談において、乳児の心身の健全な発育・発達を支援するとともに育児支援を行います。	●乳児健康相談は、ネウボラ相談窓口「あのね」での個別相談での育児支援として行った。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑨ 乳幼児健康診査	<p>疾病、障がいの早期発見及び支援、心身の健全な発育・発達等を促すとともに、親の育児不安を解消するため、乳幼児の健康診査を実施します。</p>	<p>●乳幼児の健康診査は、個別健康診査（乳児一般健康診査・4か月児健康診査）と個別・集団健康診査（1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査）で実施した。</p> <p>1歳6か月児健康診査 対象者数 3,581人 受診人数 3,332人（93.0%）</p> <p>3歳児健康診査 対象者数 3,556人 受診人数 3,242人（91.2%）</p>
⑩ 予防接種	<p>子ども・児童生徒の疾病予防のため、予防接種の勧奨及び啓発並びに情報提供を行います。</p>	<p>●2022年7月 福山市内のHPV（ヒトパピローマウイルス）定期接種対象者及びキャッチアップ接種対象者のうち、未接種者宛に個別通知を行った。（定期接種：10,292人、キャッチアップ接種：15,809人） 福山市内の小学校6年生を対象に、2種混合及び日本脳炎2期のチラシを、小学校を經由して配布した。（78か所）また、接種案内メールを保護者宛に配信した。 福山市内の1歳児及び年長クラスの児童を対象に、麻しん風しん予防接種の接種勧奨のチラシを、幼稚園等を經由して配布した。（170か所）</p> <p>●2022年9月 福山市内の小学校1年生を対象に、日本脳炎1期のチラシを小学校を經由して配布した。（78か所）また、接種案内メールを保護者宛に配信した。</p> <p>●2023年1月 麻しん風しん予防接種2期の未接種者に対し個別通知を行い、接種勧奨を行った。（1,157人）</p>
⑪ 思春期の保健対策	<p>小中高校生の児童等に喫煙・飲酒防止教育、薬物防止教育、性教育を行い、正しい知識の普及につなげるとともに、「性の多様性」に関する相談窓口の周知を図ります。</p>	<p>●喫煙・飲酒等防止教育 ・応募小・中学校に対し、ふくやま健康・食育市民会議（フクイク21）の団体関係者等から講師を派遣し、講義を行う。 小学校：15校（実施回数16回）参加者数 798人 中学校：9校（実施回数12回）参加者数 1,540人</p> <p>●中高校生等の喫煙・飲酒防止として、地域における補導活動や青少年センターによる補導活動（常時・合同・特別）を実施した。喫煙補導数 5件</p> <p>●学習指導要領に基づき、喫煙・飲酒防止教育、薬物防止教育を全中学校及び義務教育学校で実施した。また、性暴力の被害者にも加害者にもならないよう「生命の安全教育」を全小中学校、義務教育学校で実施した。</p>
⑫ 幼児等インフルエンザ予防接種費補助事業	<p>幼児等のインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助します。</p>	<p>●10月から1月までに実施した季節性インフルエンザ予防接種に要する費用に対して1回800円を限度に補助 1歳から小学生（同年度に2回まで）</p> <p>●2022年度 接種件数 1歳から小学生 1回目：14,625件 2回目：12,821件</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
基本施策（3）食育の推進		
① 食育推進事業	<p>偏食防止、朝食摂取等、子どもに望ましい食生活を身につけるため、離乳食講習会、ヘルシーメニューコンテスト、食育講演会、学校給食試食会、公民館等での子ども料理教室の開催、「食育の日（毎月19日）」「ふくやま地産地消の日（毎月29日）」の啓発活動等を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「ふくやま地産地消の日」の啓発 毎月29日に近い火曜日または、金曜日に地産地消メニューを実施。また、「ふくの日メニュー」の資料を作成し、啓発した。 毎月46施設 ●栄養士等による「食」に関する指導（衛生指導、マナー等）を、給食時間等で実施した（自校含む） 幼稚園 11回 小学校 6,867回 中学校 153回 その他 13回 内ICTを活用した指導が168回 ●食生活改善推進員による子ども料理教室の開催 実施回数20回 参加者数710人 ●ヘルシーメニューコンテストの開催 応募数1,042作品 ●「食育の日」「ふくやま地産地消の日」の啓発活動 実施回数7回 参加者数618人
基本施策（4）小児医療の充実		
① 小児医療の充実	<p>在宅当番医、夜間小児診療所、小児二次救急輪番制で時間外の救急医療を実施します。岡山大学、広島県、関係機関と連携し、救急医療体制の維持と小児救急医療拠点病院の整備を検討します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●休日昼間の一次救急を在宅当番医療機関により実施した。 ●毎夜間の小児一次救急を福山市医師会の運営により、福山夜間小児診療所で実施した。 ●2021年4月1日に福山市民病院が小児救急医療拠点病院の指定を受け、小児救急に24時間365日対応した。
② 小児救急に関する啓発	<p>小児救急に係る適正受診等について、広報・ホームページ・乳児全戸家庭訪問・健康診査において啓発します。また、岡山大学寄付講座と連携し、適正受診の啓発のため、市民講座を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市広報及びホームページなどで、適正受診について啓発を行った。 ●こんにちは赤ちゃん訪問事業や幼児健診等の機会に啓発チラシ、小児救急情報を掲載したマグネットシートを配付した。 ●岡山大学に設置した寄付講座により、小児救急医療に関する講演会をオンラインで開催した。 視聴回数 合計700回 『インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備えて～子どもたちを守るためには～』『アナフィラキシー時の対応と搬送』『保育所等における新型コロナウイルス感染対策』 講師 津下充 『赤ちゃんの特徴と乳児期の成長発達』 准教授 鷲尾洋介
【基本方針3】子どもの健やかな成長のための教育環境の整備		
基本施策（1）次代の親の育成		
① 子育てに関する講座	<p>親同士の交流や育児情報の交換等、地域・家庭教育の向上を目的に公民館、交流館、コミュニティセンター・館で実施しています。 また、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」（親プロ）を活用した出前講座を拡大する取組を通して、養成したボランティアに活躍の場を提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館等における子育てに関する講座 公民館、交流館、コミュニティセンター・館において、「親の力」をまなびあう学習プログラムや、子育てに関する講座を実施 ●「親の力」をまなびあう学習プログラム出前講座 24回 保育所、幼稚園、小学校、中学校、公民館、交流館、コミュニティセンター・館等で実施 ●養成講座 1回 出前講座の進行役であるファシリテーターの育成のための養成講座を実施

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績																					
② 世代間交流事業	保育施設において地域の老人クラブ等と連携し、世代間交流を通して、地域の見守り等子育て機能の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染防止対策のため、感染リスクの高い高齢者との交流や職場体験学習の中学生受け入れの場を控えた。																					
基本施策（2）子どもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備																							
① 保育施設・幼稚園の連携，就学前教育・保育と小学校の連携	※再掲 1-（3）-③																						
② 確かな学力の向上	子ども一人ひとりに応じた指導を充実し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを活用した思考力，判断力，表現力の向上を図る取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの興味・関心，疑問をもとに，一人一人の主体性を大切に学びづくりに取り組んだ。 ●子どもたちとともに学びを創るため，教職員研修講座の改善・充実を図った。 ●全国学力・学習状況調査正答率 <table border="1" data-bbox="1171 1012 1648 1240"> <thead> <tr> <th></th> <th>本市平均値</th> <th>全国平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 国語</td> <td>64%</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>小学校 算数</td> <td>60%</td> <td>63.2%</td> </tr> <tr> <td>小学校 理科</td> <td>62%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>中学校 国語</td> <td>67%</td> <td>69.0%</td> </tr> <tr> <td>中学校 数学</td> <td>45%</td> <td>51.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校 理科</td> <td>46%</td> <td>49.3%</td> </tr> </tbody> </table> 		本市平均値	全国平均値	小学校 国語	64%	65.6%	小学校 算数	60%	63.2%	小学校 理科	62%	63.3%	中学校 国語	67%	69.0%	中学校 数学	45%	51.4%	中学校 理科	46%	49.3%
	本市平均値	全国平均値																					
小学校 国語	64%	65.6%																					
小学校 算数	60%	63.2%																					
小学校 理科	62%	63.3%																					
中学校 国語	67%	69.0%																					
中学校 数学	45%	51.4%																					
中学校 理科	46%	49.3%																					
③ 学校評価の推進	学校が行う自己評価による学校改善を一層推進するとともに，学校・保護者・地域の連携協力を深め，学校教育の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校においては，教育目標の実現に向け，学校評価・自己評価表に基づき，PDCAサイクルを機能させ，全教職員が同じ方向性を持って「子ども主体の学びづくり」を推進した。 ●HPや学校だより，メール等を用いて学校の取組を発信し，保護者・地域との連携協力を図った。 																					
④ キャリア教育推進事業	自校で育成する「21世紀型“スキル&倫理観”」をもとに，生徒にしっかりとした勤労観や職業観を身につけさせるためのキャリア教育の推進を図ります。また，職場体験で学習したことを日常生活に結びつける取組を推進します。	●中学校及び義務教育学校の生徒を対象とした職場体験「チャレンジ・ウィークふくやま」については，新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，受入れ事業所の確保が難しい等の状況が発生した。実施できた学校は7校（生徒568人，18事業所）。実施できなかった学校は，地域の企業による講演，企業からのミッションを題材とした探究学習等，各学校の状況に応じ工夫して取組を行った。																					
⑤ 英語教育推進事業	外国語指導助手（ALT）等の活用により，児童生徒が楽しみながら英語を使用したり，外国の生活や文化等に慣れ親しむ等の学習を通して，英語学習への意欲とコミュニケーション能力を養います。	<ul style="list-style-type: none"> ●英語指導助手（ALT）の小学校，中学校，幼稚園への派遣及び小学生3～6年生を対象にした英語イベントを3回実施した。 英語指導助手（ALT）の人数，派遣回数，参加人数 <ul style="list-style-type: none"> ・人数 21人（うち福山中学校，鞆の浦学園，想青学園にそれぞれ1人常駐） ・派遣 幼稚園53回，小学校2201回，中学校933回 ・3年73人，4年39人，5年40人，6年33人参加 																					
⑥ 豊かな心の育成	各教科，道徳，特別活動や体験活動等，学校教育活動全体を通して，児童生徒に豊かな心を育むとともに，生涯にわたりたくましく生きていくための健康づくり・体力づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●カリキュラム・マップに，道徳科の内容と関連する学校行事や教科等を同じ時期に実施するなど，効果的に学んだり生活に生かしたりすることができるようにした。 ●体育科，保健体育科の授業において，児童生徒が体を動かすことの楽しさ，心地よさを味わい，日常的に運動に親しむことができるように，一斉研修等を通して授業改善を推進した。 																					

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑦ 不登校児童生徒への取組	<p>児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、きらりルームの設置や福山市フリースクールの拡充などの多様な居場所づくりを進めるとともに、不登校への組織的な対応、校区の小中学校の連携などの教育相談体制の充実に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●福山市フリースクール“かがやき”、校内フリースクール“きらりルーム”等において、不登校等児童生徒に、個に応じた学習や体験活動等による支援を実施した。 ●広島県教委による「不登校SSR推進校事業」を活用し、学習支援等による不登校の未然防止及び不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化・充実に取り組んだ。 ●市内小中学校・義務教育学校へ配置したスクールカウンセラーによる相談活動、福山市教育相談センターでの教育相談活動等を実施した。 ●教育相談センター等で、不登校等で悩みを持っている保護者が集う場“つながローズ”を開催した。また、各フリースクール利用児童生徒の保護者会を開催した。
⑧ 北京市教育交流推進事業	<p>本市と北京市教育委員会との間で教育交流を行い、生徒と教職員が互いの国のことを知り合うことで、国際的視野や感覚を身につけます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月にオンラインで教育交流を行った。 参加者 福山市 中学生11名 北京市 高校生12名 ●事前学習会を実施することで、各参加者が交流の目的をもち、やりたいことを明確にし、その準備を進めることができた。また、オンライン上のワークスペースを活用し、スライドの作成や英語でのコミュニケーションを行うことができた。 ●生徒は、北京市の高校生や福山市の中学生との交流を通して、事前に調べたことや思い込みに疑問を抱いたり、新たな目標を持ったりすることができた。
⑨ 小中一貫教育推進事業	<p>福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育成するために、義務教育9年間を一体的に捉えた小中一貫教育に取り組みます。「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」及び「福山市学校規模・学校配置の適正化計画（第1要件）」に基づき、学校再編の取組を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小中交流活動の推進に係る学校間移動のためのバス借り上げ費を措置した。 ●「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」に基づき、再編対象校の保護者や地域住民と継続的に意見交換を行った。 ●加茂小学校、加茂中学校の2023年4月の開校に向け、開校準備委員会を開催し、服装や通学等についての協議をするとともに、児童生徒の交流事業や施設整備を行った。また学校説明会を行った。 ●2022年4月に開校した想青学園の施設整備を行い、新校舎の供用を開始した。
⑩ 児童生徒の健全育成の啓発、指導	<p>豊かな心の育成をめざし、子どもの健全育成の啓発及び指導を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カリキュラム・マップに、自校で育成する「21世紀型“スキル&倫理観”」（資質・能力）と各教科等の計画を示し、確実に実施できるようにするとともに、道徳科の内容と関連する教科等を同じ時期に実施するなど、効果的に学んだり生活に生かしたりすることができるようにした。 ●児童生徒が主体となって「考え・作り・守る」ものになるよう、生徒指導規程の見直しを継続している。
⑪ 障がい児の教育	※後掲 5-（4）-⑩	
⑫ 特別支援教育体制推進事業	※後掲 5-（4）-⑪	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名		事業概要	2022年度実績
⑬	若い世代を対象とした平和研究事業	戦争と平和を考えるきっかけとなる体験の場や講座を通して、戦争の記憶を未来に紡ぎ、次の世代に継承・伝承します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「基礎講座」「体験学習（フィールドワーク）」「ピースプロジェクト」の3部構成 1部：「基礎講座」…原爆体験、福山空襲体験、戦時下の生活体験の聞き取りなど 2部：「体験学習（フィールドワーク）」…戦争遺跡めぐり、広島平和記念資料館の見学など 3部：「ピースプロジェクト」…オリジナル企画「ピースウォーク」の実施、ピースアート制作など
⑭	地域学習活動支援事業（放課後チャレンジ教室、土曜チャレンジ教室）	地域に在住している退職教職員等が、児童に国語・算数を中心とした基礎的な内容の学力補充を行うとともに、学習意欲の向上、学習習慣の定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校4～6年の希望者を対象に週1回、放課後チャレンジ教室問題集（算数・国語）を中心に活用し、基礎的内容の定着を図った。 ●問題集学習後の時間で、学校の宿題やその他の学習に取り組む、学習意欲の向上、学習習慣の定着を図った。 <p>開設教室数 放課後チャレンジ教室 31教室 土曜チャレンジ教室 2教室</p> <p>参加児童数 450名 ボランティアリーダー及び講師数 168名（リーダー33名）※兼務あり</p> <p>延べ開催回数 967回</p>
⑮	スクールカウンセラー配置事業 ※県事業	臨床心理に関する専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実を図り、不登校等の未然防止や早期解決をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全ての小中学校及び義務教育学校へスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒、保護者及び教職員からの相談にのり、不登校やいじめ、友人関係等の多岐にわたる課題の解決に取り組んだ。 <p>スクールカウンセラーへの相談人数（延べ人数）</p> <p>児童生徒 2,550名 保護者 1,440名 教職員 4,694名</p>
⑯	家庭教育支援アドバイザー活用事業 ※県事業	4中学校区の小中学校に家庭、地域、学校の連携・協力を支援する家庭教育支援アドバイザーを配置し、学習支援などが必要な家庭に対して関係機関と連携した効果的な支援を行います。	2022年度事業実施なし
⑰	スクールソーシャルワーカー活用事業 ※県事業	5中学校区の小中学校に家庭、地域、学校の連携・協力を支援するスクールソーシャルワーカーを配置し、生活環境改善などが必要な家庭に対して、関係機関と連携した効果的な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内6中学校区へスクールソーシャルワーカーを配置し、経済状況等、生活環境に課題のある児童生徒の家庭等に対して支援を行った。 <p>実際に支援を行った児童生徒数 259名</p>
基本施策（3）家庭や地域の教育力の向上			
①	家庭児童相談事業	家庭における人間関係や子どもの養育に関すること等、家庭の様々な相談に応じ、必要な助言や指導を行います。	●2021年4月に設置した「子ども家庭総合支援拠点」において総合的に実施している。
②	世代間交流事業	※再掲 3-(1)-②	
③	地域住民、民間団体の子育て力の育成と協働	地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成や、民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てボランティア養成講座において、保育所や子育て支援事業の役割について情報を提供した。 ●ふくやま子育て応援センター「キッズコム」におけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの実施、子育てボランティアの養成等を通じて、地域住民の子育て力の育成を行った。
④	家庭教育支援アドバイザー活用事業 ※県事業	※再掲 3-(2)-⑯	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
<p>【基本方針4】子ども等の安全・安心の確保</p>		
<p>基本施策（1）子どもを交通事故・犯罪等の被害から守るための活動の推進</p>		
<p>① 歩道整備事業</p>	<p>福山市道路整備計画に基づき、子どもや高齢者、障がいのある人等の利用に配慮した、人に優しく安全性の高い歩道の整備を計画的に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年度は3路線を整備した。 ●自転車通行空間整備事業 山手東手城幹線 福山駅旭町線 東福山駅前幹線
<p>② 交通安全教室</p>	<p>小学校の児童や認定こども園・幼稚園・保育所の児童を対象に、交通安全教室等を開催し、交通安全意識の普及啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教育専門員等による交通安全教室を開催した。 ・開催回数 187回 ・参加者数 21,235人 ●交通安全について家族で学ぶイベント、交通安全ファミリーランドを開催した。 ・1回 参加者数 約3,000人
<p>③ 交通安全教育推進モデル地域の支援</p>	<p>交通安全教育推進モデル地域を指定し、地域ぐるみでの交通安全教育を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●指定学区が地域住民の交通安全意識の高揚を図るために行う事業に補助金を支出した。 ・指定学区（2か年指定の2年目）坪生、山手、加茂広瀬 ・補助金額 1学区 年間10万円 ・事業内容 啓発看板の設置、登下校の見守り活動、交通安全教室の開催 等
<p>④ 自転車利用者対策事業</p>	<p>自転車による交通事故・盗難防止のため、関係機関・団体との連携により、自転車所有者、利用者への指導・啓発活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車による交通事故防止、盗難（被害・加害）の減少を啓発するため、商業施設や中・高等学校の校門でリーフレット、LEDライト、ワイヤーロック錠等を配布した。 実施場所 19か所 ●中・高等学校で自転車の交通安全・防犯教室を開催した。 実施校 12校 4,208人
<p>⑤ 保育施設の危機管理体制の確立</p>	<p>保育施設の危機管理体制を確立し、危機意識を維持していけるよう、定期的に訓練を行い、子どもの安全確保に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年度 ・救命救急講習会：各施設及びオンライン講習 <日赤>公立保育所・こども園（39施設）：134人、公立幼稚園：7人、法人立保育施設等：（40施設）108人 <消防>公立保育所・こども園（8施設）：89人 ◎合計：338人受講 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各施設及びオンラインでの実施。公私立各施設に小冊子を配付し、消防や日赤のWeb動画を基に園内研修を実施。 ・安全対策講演会 <日程>8月24日（水）Zoomでのオンライン研修 公私立保育施設・地域型事業所へ案内：140人視聴
<p>⑥ 学校の危機管理体制の確立</p>	<p>学校、地域が連携して危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「危機管理マニュアル」による安全性の確保を図った。 ●「学校安全計画」に基づいて安全管理、安全教育を行った。 ●今年度新たに「洪水浸水想定区域」に該当し、避難確保計画の必要な学校と学校再編の学校が、学校防災マニュアルの見直しや避難確保計画の作成を行った。 ●風水害から身を守るための「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を行った。 ●保護者や地域のボランティアが登下校時の見守りを行った。 ●各小学校・義務教育学校で、登下校時集合場所の安全点検を実施した。 ●PTA、道路管理者、警察、学校、教育委員会が合同で通学路点検を行った。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑦ 児童生徒安全確保対策	<p>不審者の侵入や事故等の緊急時に、児童・園児の安全を確保するため、緊急通報システムを活用し、安全対策の体制強化を図ります。</p> <p>また、不審者情報等について、携帯電話等のメール機能を利用した受信希望の保護者、教育関係団体、地域の各種団体等に対し、メール配信により情報提供を行うことで児童生徒の安全確保を図ります。</p>	<p>●教育委員会で把握した不審者情報を、保護者、教育関係団体及び地域の各種団体の受信希望者に対し、携帯電話などに電子メールで配信し、児童生徒の安全に係る情報の共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール配信システム登録人数 2020年度 34,799人 2021年度 36,448人 2022年度 36,804人 ・不審者情報の配信について 刃物を向け、金品を要求されるなど 緊急メールの配信 4件 後をつけられるなど 市内全校への情報提供 39件 <p>●2006年度から、幼稚園及び放課後児童クラブの緊急通報システムを活用した安全対策を実施している。電波法関係法令の改正及び機器の老朽化により、2022年度に機器の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配備施設数 幼稚園 1園（西幼稚園） 放課後児童クラブ 69か所
⑧ 通学時安全確保対策	<p>小学校新生に防犯ブザーを配付します。また、配付時に取扱いについて指導し、児童が危険から自分を守ることのできる危険回避能力を育成します。</p> <p>関係機関・団体等と連携して組織的・継続的に通学路の交通安全対策に取り組みます。</p>	<p>●小学校、義務教育学校新生に防犯ブザーを配付した。配付時に、取扱いについて指導し、児童が危険から自分を守ることのできる危険回避能力を育成した。</p> <p>防犯ブザー 4,170個</p> <p>●「福山市通学路交通安全プログラム」に基づき、2年に1度、学校が地域・保護者等の協力のもと抽出した危険箇所を、道路管理者や警察、地域関係者（保護者、自治会、交通安全自治会、交通指導員、見守りボランティア、土木常設員など）とともに、市内一斉に合同点検を実施し、安全対策を講じている。</p> <p>また、合同点検以降、新たに危険箇所として対策が必要な場合は、学校・道路管理者・警察・地域関係者による合同点検を随時実施し、対策に取り組んでいる。</p> <p>対策の進捗状況については、年3回（8月末・12月末・3月末）HPで公表している。（2022年度から年3回に変更）</p> <p>2022年度は、5回目となる合同点検を実施し、危険箇所の対策（案）の検討を行い、2023年度以降の危険箇所の対策内容を策定した。なお、2022年度から中学校の通学路を点検対象に追加し、総合的な通学路の安全確保に繋げた。</p> <p>【合同点検の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 2014年度 第2回 2016年度 第3回 2018年度 第4回 2020年度 緊急 2021年度 第5回 2022年度
⑨ 地域における危機管理体制の確立	<p>青少年育成員協議会やまちづくり推進委員会の構成団体、地域住民と連携して、登下校時の見守り、補導活動、パトロール、こども110番防犯訓練の協力等を実施します。</p>	<p>●各学区の青少年育成員協議会やまちづくり推進委員会の構成団体、地域住民と連携して、登下校時の見守り、不審者情報の共有、非行防止・環境浄化を中心にした補導活動、パトロール、こども110番防犯訓練を実施した。</p>
⑩ 通学路沿い公共施設安全対策事業	<p>通学路沿いの公共施設に防犯カメラシステムを設置し、通学途中の児童等の防犯を図ります。</p>	<p>●防犯カメラシステム（防犯灯、カメラ、緊急ボタンの3点セット）18基</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑪ 地域安全マップ普及推進事業	地域における犯罪を未然に防止するため、地域安全マップ作成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●福山大学で犯罪心理学を専攻している学生と協働で実施した 実施回数 1回 日時 2023年（令和5年）9月24日（土） 8時30分～12時 場所 西公民館 対象 西学区まちづくり推進委員会，安全部会 参加 住民，児童とその保護者 38名
⑫ 非行防止活動の推進	関係機関・団体等と連携した会議，研修会の実施をはじめ，街頭啓発や講演会等を通して，非行防止活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●11月の「子供・若者育成支援強調月間」中に講演会を実施した 日時 11月21日（月）19時～20時 テーマ 青少年と向き合うために～地域における私たちの役割～ ●中央青少年育成員と合同で各駅合同街頭補導を実施した（福山駅，松永駅，神辺駅）
⑬ 「こども110番の家」推進事業	子どもを犯罪等の被害から守るため，市内全域に「こども110番の家」の活動を実施し，地域の住民と連携して，子どもを被害から守る活動の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●「こども110番の家」 協力軒数 5,179軒 ●「こども110番事業ネットワーク会議」 日時 2023年（令和5年）3月20日（月）15時～16時30分 場所 まなびの館ローズコム 4階 中会議室 ●こども110番防犯訓練「不審者からの危険回避」 2回（児童発達支援放課後等デイサービスHugHug，道上小学校） ●ふれ愛ランドまつりで啓発チラシの配布
⑭ 生活安全パトロール車による子ども見守り事業	公用車両に青色回転灯及び放送設備を装備し，公務連絡経路等において，防犯・交通安全等の街頭啓発を実施するほか，不審者情報に対する対応等，子どもの見守り活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●生活安全指導員によるパトロールを実施した。 ●日常の公務連絡業務と合わせて巡回活動を実施した。 ●不審者の出没事案に対し，重点パトロールを実施した。
⑮ 地域青色防犯パトロール実施団体支援事業	子どもの見守り等，地域における自主防犯パトロールの充実に向け，地域青色防犯パトロール実施団体に対し，パトロール車両に装備する青色回転灯，放送設備等を貸与します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域青色防犯パトロール実施学区 幕山，久松台，坪生，野々浜，春日，桜丘，東村，明王台，山南，神村，水呑，松永，網引（13団体 18台）
⑯ 地域における子どもや市民の安全確保体制の支援	安心・安全な地域づくりのため，不審者情報・災害情報等の緊急を要する情報を正確・迅速にファクシミリで提供します。また，メール配信の活用と利用促進を図り，迅速な情報提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学区（地区・町）自治会（町内会）連合会会長に対し，不審者情報・災害情報などをファクシミリにより提供した。 ●2015年度から迅速・確実な情報提供の手段としてメール配信を導入し，希望する連合会長へ配信した。 ・ファクシミリによる情報提供先 13学区（地区・町） ・メールによる情報提供先 67学区（地区・町） ・情報提供数 10件
基本施策（2）安全で，安心して子育てができるまちづくりの推進		
⑰ 都市公園安全・安心の取組	乳幼児から高齢者までだれもが安心して安全に歩行等できるよう既設公園の園路について，段差解消等のバリアフリー化を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●春日池公園の園路段差解消 緑町公園の園路段差解消

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
② 生活安全モデル地域の支援	生活安全モデル地域を指定し、犯罪のない安心して子育てができる安全なまちづくりに向けた地域ぐるみの活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●指定学区が地域住民の防犯意識の高揚と安心・安全のまちづくりを推進するために行う事業に補助金を支出した。 ・指定学区（2か年指定の2年目）引野，柳津，宜山 ・補助金額 1学区 年間10万円 ・事業内容 子どもの見守り活動，夜間パトロール，防犯グッズの配布 等
③ 防犯カメラ更新事業	道路等公共空間に設置した防犯カメラにより，街頭での犯罪の発生を防止するとともに捜査への協力を行うことで，事件や事故の早期解決を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●新規設置 寄附 4台 ●地域団体等が過去に市から補助金を受けて設置した防犯カメラの内，5年を経過し，警察等から画像取出しの要請があったカメラについて更新費用の一部を補助した。2団体，2台
④ ユニバーサルデザインの推進	年齢，性別，国籍，障がいの有無等に関わらず，全ての人が快適な暮らしができる社会をめざし，総合的かつ効果的にユニバーサルデザインを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントなどでの啓発パネルやユニバーサルデザイン製品の展示，各種研修会での啓発，資料を活用しての学習など，様々な機会を通してユニバーサルデザインの考え方の普及に努めた。 ユニバーサルデザインのグッズ，パネルの展示 …2,105人 ●ユニバーサルデザインの視点に立ち，ハード面，ソフト面ともにユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策を推進し，市民の利便性の向上や安全確保を行っている。 ●出前講座の実施・実施箇所24箇所 参加人数1,383人
⑤ 市営住宅入居専用枠の設定	子育て，母子，障がい者世帯等の住宅に困窮している世帯に対して的確な供給を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市営住宅の募集時に，専用部屋の提供及び抽選倍率の優遇措置を行っている。

【基本方針5】 援助を必要とする子育て家庭への支援

基本施策（1） 児童虐待防止施策の充実

① 子ども家庭総合支援拠点の設置・運営	子ども及び家庭への支援を専門的に行うため，子ども家庭総合支援拠点を設置し，各関係機関との連携を図りながら，必要なサービスや地域資源につなぐソーシャルワークを総合的に行うことで，虐待の未然防止に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年4月に子ども家庭総合支援拠点機能を設置した。保健師，公認心理師等専門職を配置し相談体制を整備し，関係機関と連携を図り支援を行っている。
② 児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	福山市児童虐待防止等ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を中心に行政と関係機関・団体が情報の共有及び連携を図りながら，児童虐待の未然防止，早期発見及び効果的対応を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●福山市児童虐待防止等ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）において，行政と関係機関，団体が連携して，児童虐待の防止，早期発見，早期対応に取り組んだ。 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 4回 （集合とオンラインのハイブリッド開催） ・ケース会議 71回 ・虐待通告 1,123件

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
③ 児童虐待防止啓発事業 (オレンジリボンキャンペーン)	虐待の現状を広く知らせ、虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるようにとの願いが込められた「オレンジリボン」を、「児童虐待防止」の象徴として広めるキャンペーンを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年11月の児童虐待防止月間を中心として、啓発活動を庁内外に対して実施 <ul style="list-style-type: none"> ・懸垂幕の掲出（幟旗は実施できず） ・虐待防止啓発チラシの作成・配付（民協など） ・虐待防止啓発封筒を作成し、庁内各課で市民宛て通知に利用（庁内5課、9400枚を配布） ・広報ふくやまへ掲載、庁内放送にて周知 ・児童虐待防止ポスターの配布（公民館や学校等） ・子どもフェスティバル参加（パネル展示、オレンジリボンを印字した啓発エコバッグの配付） ・県事業の「オレンジリボンキャラバン安芸戦士メープルカイザー表敬訪問」に協力
④ 福山市虐待防止ネットワークの運営	複雑多様化する児童虐待の要因に対応するため、高齢者虐待、障がい者虐待、配偶者からの暴力（DV）の担当課と関係機関において、情報共有及び連携強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待、配偶者からの暴力（DV）の担当課それぞれの活動状況及び活動計画の報告、情報共有及び連携強化を図るため、代表者会議を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 1回
⑤ 家庭児童相談事業	※再掲 3－(3)－①	
⑥ 短期入所生活援助事業（ショートステイ・トワイライトステイ）	※再掲 1－(2)－⑤	
⑦ 子育て世代包括支援センター事業（基本型・母子保健併設型） [利用者支援事業]	※再掲 1－(1)－①	
⑧ 地域子育て支援拠点事業	※再掲 1－(2)－②	
⑨ 地域全体で子育てを見守り、支え合う活動の推進	※再掲 1－(4)－③	
⑩ すこやか育児サポート事業	※再掲 2－(1)－⑧	
⑪ こんにちは赤ちゃん訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	※再掲 2－(1)－⑨	
⑫ 家庭教育支援アドバイザー活用事業 ※県事業	※再掲 3－(2)－⑯	
⑬ スクールソーシャルワーカー活用事業 ※県事業	※再掲 3－(2)－⑰	
基本施策（2）ひとり親家庭等の自立支援の推進		
① ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭等の親又は児童が、病院へ通院又は入院した際の保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者は、18歳到達後初めての3月末までの児童を現に扶養している配偶者のない人とその児童で、本人及び生計を同一にする扶養義務者が所得税非課税であること。 ●一部負担金は、1医療機関につき、1日500円（入院、通院とも月4日まで） 受給者数 6,780人

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
② 児童扶養手当	<p>父母の離婚、父又は母の死亡・拘禁・遺棄等により、父又は母のいない児童及び父又は母が一定の障がいの状態にある児童を養育している人に児童扶養手当を支給します。</p>	<p>●支給額 全部支給 月43,070円 一部支給 月43,060円～10,160円 第2子目 10,170円 第3子目以降 6,100円を加算 (所得制限あり)</p> <p>●受給者数 3,551人 (内訳) 母子 3,387人 父子 150人 養育者 14人</p>
③ 母子父子寡婦福祉資金貸付金	<p>母子家庭や父子家庭の児童等が修学するために必要な学費等の貸付を行うことにより、母子家庭や寡婦、父子家庭の生活の安定とその児童の福祉の向上を図ります。 また、償還が困難な者に対しては、必要に応じて、償還指導や償還計画の見直し等を行いながら、自立に向けた支援を行います。</p>	<p>●対象者は、母子家庭の母と児童、父子家庭の父と児童、寡婦など</p> <p>●貸付金の種類は、修学資金、就学支度資金、修業資金、就職支度資金、技能修得資金、事業開始資金、事業継続資金、医療介護資金、生活資金、住宅資金、転宅資金、結婚資金</p> <p>貸付件数 27件 母子 新規 5件 継続 20件 寡婦 新規 0件 継続 0件 父子 新規 1件 継続 1件</p>
④ ひとり親家庭自立支援給付金事業	<p>ひとり親家庭の親に対して、就労に有効な資格を取得するための経費の一部の助成や特定の資格を取得する期間に係る給付金を支給し、自立を支援します。</p>	<p>●自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成 支給件数 8件</p> <p>●高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために6か月以上修業する間の一定の期間に給付金を支給 支給件数 48件</p> <p>●入学支援修了一時金 修了期間終了後に支給 支給件数 11件</p>
⑤ ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	<p>ひとり親家庭の親や子どもを対象に、より良い条件での就職や転職により、安定した雇用につなげることを目的に、学び直しを支援します。高等学校卒業程度認定試験合格のための講座の受講費用の一部を支給します。</p>	<p>●高等学校卒業程度認定試験合格のための講座受講について、受講修了時給付金や合格時給付金で受講費用の一部を支給した。 支給件数 2件</p>
⑥ ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	<p>ひとり親家庭の親等に対し、就業支援講習や就業情報の提供等により、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図ります。</p>	<p>●ひとり親家庭等就業・自立支援センターで就業相談、講習会、就業情報の提供等を実施した。</p> <p>●2014年9月からハローワークの求人情報のオンライン提供を受け、支援の充実を図っている。 事業は2020年3月までは、一般財団法人福山市母子寡婦福祉連合会に事業委託していたが、2021年4月からは一般財団法人広島県ひとり親家庭等福祉連合会に事業委託先を変更し、養育費専門相談員による養育費取得のための取り決めや支払の履行・強制執行の手続に関する相談や情報提供等を行う養育費支援事業を新たに実施することとなった。</p> <p>・就業支援事業 相談件数 34件 求人件数 28件 紹介件数 28件 採用件数 9件</p> <p>・就業支援セミナー・講習会 セミナー 1回 延べ9人 講習会 11回 延べ80人</p> <p>・養育費支援事業 延べ11件 延べ10人</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑦ 母子・父子自立支援プログラム策定事業	児童扶養手当受給者の状況やニーズに応じて、自立支援プログラムを策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施します。	●ひとり親家庭等就業・自立支援センターで母子・父子プログラム策定員が児童扶養手当受給者を対象に、個々のケースに応じた自立支援プログラムを策定した。 策定数 26件
⑧ 母子生活支援施設	母子生活支援施設において、母子家庭やこれに準ずる事情にある家庭の母子を保護するとともに自立を支援します。	●DV被害を被った母子世帯については、市外施設への措置委託を行った。 ●入所状況（2023年3月31日現在） 市外措置 8世帯（21人）
⑨ ひとり親家庭等相談事業	ひとり親家庭自立支援員により、ひとり親家庭の状況に応じた自立支援を推進します。	●ひとり親家庭自立支援員がひとり親家庭などの自立支援に向けた相談や助言を行った。 相談件数 1,752件 （内訳）母子 1,719件 父子 33件 ※相談件数には母子父子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む。
⑩ ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業	※再掲 5-（3）-⑫	
⑪ 子どもの健全育成支援事業	※再掲 1-（5）-⑥	
⑫ 市営住宅入居専用枠の設定	※再掲 4-（2）-⑤	

基本施策（3）子どもの貧困対策

① 芸術文化体験事業	ふくやま美術館へ、市内公立小学校・義務教育学校の4年生の児童を招待し、絵画等の芸術作品の鑑賞を通して、豊かな創造力・想像力や思考力などを養います。	●実施対象72校（4年生が在籍していない1校を除く）が実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、度重なる日程変更を行い、全校実施。1学級が学級閉鎖により参加できなかったが、約4,200人が参加した。 ●福山城工事見学は、工事完了7月までで、希望校33校すべて実施した。 ●児童アンケートや職員の実施報告書には、予定どおり見学出来たことへの喜びやスタッフへの感謝の言葉も多かった。 児童アンケートの結果 ①作品のよさや面白さを感じた 97.6% ②作品を見たり、説明を聞いたりして、新しい発見があった 93.2% ③作品を見たり、説明を聞いたりして、今までとちがった絵の見方ができた 93.6% ④また、美術館に行ってみたいと思った 92.4% ⑤今まで美術館に行ったことがない児童 50.4% 感想 ・初めて美術館に行って、今まで興味がなかったが、作品の美しさ、作品に込められた思いや技法、いろいろな所蔵品に驚いた。また行きたい。 ・福山城の所蔵品を鑑賞し、工事見学でボランティアの方の話聞いてよくわかった。
② ばらのまち福山国際音楽祭事業	音楽祭のコンサートへ、市内公立小学校・義務教育学校の5年生の児童を招待し、オーケストラの鑑賞を通して、豊かな感性や想像力などを育みます。	●鑑賞者数を抑え、実施日を1日増やして実施。（5月18日～20日に5回開催、1回900人程度）。 ●感染防止対策を行いながら、予定通り実施することが出来た。指揮者の岩村力氏から子どもたちに分かりやすい解説もあり、楽しく学べる公演となった。演目はクラシック曲の中でも比較的有名で、一度は聴いたことのある曲が多く、またソリストに中学生のヴァイオリニスト村田夏帆さんが出演したことにより、親しみやすく身近に感じられるコンサートとなった。 参加者数 4,350人 （2校は学年閉鎖で参加中止、1校は学級閉鎖で1クラス不参加）

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
③ 「山・海・島」体験活動	<p>日常とは異なる環境での様々な体験活動を通し、児童の主体性、挑戦する力、粘り強さ、コミュニケーション能力、思いやり、助け合いの心などの資質・能力を育みます。</p>	<p>●コロナ禍以前は、多くの学校が市外、県外での2泊以上の体験活動を実施していたが、新型コロナウイルス感染症での延期、中止を機に、市内での実施が多くなっている。</p> <p>●宿泊施設以外に学校を利用する等、コロナ対策をしながら、自然体験と結び付けた体験等の工夫がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2泊5校、1泊58校、日帰り8校、隔年実施のため実施なし1校、 ・市内で実施 66校、市外 2校、県外 3校
④ キャリア教育推進事業	※再掲 3-(2)-④	
⑤ 地域学習活動支援事業（放課後チャレンジ教室、土曜チャレンジ教室）	※再掲 3-(2)-⑭	
⑥ 不登校児童生徒への取組	※再掲 3-(2)-⑦	
⑦ スクールカウンセラー配置事業 ※県事業	※再掲 3-(2)-⑮	
⑧ 家庭教育支援アドバイザー活用事業 ※県事業	※再掲 3-(2)-⑯	
⑨ スクールソーシャルワーカー活用事業 ※県事業	※再掲 3-(2)-⑰	
⑩ 子どもの居場所づくり事業（放課後子ども教室の推進）	※再掲 1-(2)-⑦	
⑪ 子ども健全育成支援事業	※再掲 1-(5)-⑥	
⑫ ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業	<p>ひとり親家庭等の子どもが抱える特有の課題に対応し、貧困の連鎖を防止する観点から、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援などの実施により、ひとり親家庭等の子どもの生活の向上を図ります。</p>	<p>●ひとり親家庭の中学生を対象に、事業委託により支援を行った。</p> <p>●週1回2時間 計24回 市内会場5か所のいずれか又は参加者自宅において支援</p> <p>●2022年度参加者 97人</p>
⑬ 奨学金の貸与	<p>経済的理由により大学等への進学が困難な者に対して、学資を貸与します。</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等への受験や入学が困難な受験生 ・大学等に在学中の学生 ・高等学校等に在学中の学生 	<p>●青少年修学応援奨学金 大学等への受験や入学が困難な受験生に対し、学資を貸与 受験資金 10人、入学準備金 11人</p> <p>●福山市奨学資金 大学等に在学中の学生に対し、学資を貸与 新規 8人、継続 35人</p> <p>●誠之奨学金 高等学校等に在学中の学生に対し、学資を貸与 新規 0人、継続 3人</p>

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑭ 生活保護世帯の子どもの大学等への進学支援	<p>貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護世帯を対象に、子どもの自立を助長するため、大学等へ進学した際に、新生活の立ち上げ費用として一時金を支給します。</p>	<p>●大学等への進学希望のある生活保護世帯の高校生に対し、進学費用等進学に関する個別相談を実施した。</p> <p>●生活保護世帯を対象に、大学等へ進学した際に、新生活の立ち上げ費用として進学準備給付金を支給した。</p>
⑮ 母子父子寡婦福祉資金貸付金	※再掲 5- (2) -③	
⑯ ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	※再掲 5- (2) -⑤	
⑰ 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	※再掲 1- (2) -⑥	
⑱ 子ども医療費助成	※再掲 1- (7) -①	
⑲ 子育て世代包括支援センター事業（基本型・母子保健型併設） [利用者支援事業]	※再掲 1- (1) -①	
⑳ ひとり親家庭等相談事業	※再掲 5- (2) -⑨	
㉑ 児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	※再掲 5- (1) -②	
㉒ 産後ケア事業	※再掲 2- (1) -⑬	
㉓ 産後ヘルパー派遣事業	※再掲 2- (1) -⑭	
㉔ 産前・産後サポート事業	※再掲 2- (1) -⑮	
㉕ こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業）	※再掲 2- (1) -⑨	
㉖ 育児支援家庭訪問事業（養育支援訪問事業）	※再掲 2- (2) -④	
㉗ 食育推進事業	※再掲 2- (3) -①	
㉘ ひとり親家庭自立支援給付金事業	※再掲 5- (2) -④	
㉙ ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	※再掲 5- (2) -⑥	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名		事業概要	2022年度実績
③⑩	母子・父子自立支援プログラム策定事業	※再掲 5-(2)-⑦	
③⑪	生活保護受給者等就労自立促進事業	生活保護受給者，児童扶養手当受給者，住居確保給付金受給者，生活困窮者に対し，福祉事務所等の職員や公共職業安定所と連携して就労支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●住居確保給付金受給者に対し，ハローワークと連携し，就労支援を実施 支援者数17人，就労開始人数10人 ●生活保護受給者に対し，就労意欲が高く就労疎外要因のない（少ない）者や特に専門的な支援を必要とする者を選定し，ハローワークとの連携により就労支援を実施した。 支援者数133人，就労開始65人 ●ハローワークと連携して，個々の児童扶養手当受給者等の状況，ニーズ等に応じたきめ細やかな就労支援を行う生活保護受給者等就労自立促進事業を実施した。 支援者数 13人
③⑫	ひとり親家庭等医療費助成	※再掲 5-(2)-①	
③⑬	児童扶養手当	※再掲 5-(2)-②	
③⑭	母子生活支援施設	※再掲 5-(2)-⑧	
③⑮	就学援助費	※再掲 1-(7)-⑯	
③⑯	住居確保給付金の支給	離職により住宅を失った又は失うおそれが高い生活困窮者を対象に，一定期間，家賃相当額を支給します。	<ul style="list-style-type: none"> ●離職者等であって就労能力及び就労意欲がある人のうち，住宅を喪失している人又は，喪失するおそれのある人に対して，住宅費を支給し，住宅及び就労に向けた支援を実施した。 新規支給決定件数 24件
③⑰	子育て情報誌の発行	※再掲 1-(1)-③	
③⑱	地域全体で子育てを見守り，支え合う活動の推進	※再掲 1-(4)-③	
③⑲	青少年育成自立支援事業	※再掲 1-(5)-⑨	
④①	支援会議による生活困窮者支援のあり方検討	各関係機関が把握している困窮が疑われるようなケースの情報共有や適切な支援のあり方についての検討を行う会議を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●保健事業実施課（健康推進課・松永保健福祉課・北部保健福祉課・東部保健福祉課・神辺保健福祉課・沼隈支所保健福祉担当）において，心理相談員・保育士・保健師による療育相談を実施した。 ●一人ひとりの課題に応じて，関係機関と連携した一体的な支援（療育支援システム）を実施した。
④②	ふくやま・ヤングサポートネットワーク	※再掲 1-(5)-⑩	
④③	社会環境浄化活動の推進	※再掲 1-(5)-⑦	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名		事業概要	2022年度実績
④③	少年相談	※再掲 1-(5)-⑧	
④④	児童見守り支援事業	※再掲 1-(5)-⑪	
基本施策(4) 障がい児施策の充実			
①	自立支援医療(育成医療)費	一定の身体上の障がい等がある児童で、確実な治療効果を期待しうるものに対し、障がいや疾病を軽減、改善するために要する保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる主な障がいや疾患 肢体不自由(ペルテス病、内反足) 視覚障がい(斜視) 聴覚・平衡機能障がい(小耳症) 音声・言語・そしゃく機能障がい(口蓋裂) 内臓障がい(心室中隔欠損症、アロ-四徴症、慢性腎不全) ヒト免疫機能障がい ●本人負担は原則1割 所得の状況などに応じて負担の上限月額の設定あり 給付件数 279件 (2023年3月末審査分)
②	重度心身障がい者医療費	重度の障がいのある障がい児(者)が、医療機関へ通院又は入院した際の保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象 ①身体障がい者手帳1~3級の人 ②療育手帳(A, A, B)の人 ③精神障がい者保健福祉手帳1級を所持しており、自立支援医療(精神通院)を受給している人 (※①②③ともに所得制限あり) ●一部負担金 1医療機関につき1日200円 (入院、通院とも月4日まで) ※③の人は入院対象外。 ※65歳以上(療育手帳Bを除く)で後期高齢者医療に加入していない人については、当該受給者が後期高齢者医療の被保険者であると見なして算定した保険診療の自己負担分を給付の対象としている。 ●受給者数 65歳未満 3,757人 65歳以上 7,086人
③	特別児童扶養手当	身体・知的・精神に概ね重度又は中度の障がいのある20歳未満の児童を監護する保護者に対し、手当を支給します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象 身体・知的・精神に概ね重度又は中度の障がいのある20歳未満の児童を監護する保護者(児童が施設に入所している場合を除く。) ●支給額 1級 月52,400円 2級 月34,900円 (所得制限あり) ●受給者数 678人
④	障がい児福祉手当	20歳未満の精神又は身体に重度の障がいを有する児童に対し、手当を支給します。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象 常時介護を必要とする20歳未満の重度障がいの人 ●支給額 月14,850円(所得制限あり) ●受給者数 218人

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑤ 特別支援教育就学奨励事業	市立小学校・中学校・義務教育学校の通常学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいのある児童生徒又は特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するために、就学に必要な経費の一部を支給します。	●援助の内容は、学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部 支給対象者 1,862人 支給者 1,731人
⑥ 特別支援学級保護者付添交通費補助事業	通園・通学に付添いが必要な児童等の保護者に対し、交通費の一部を補助します。	●対象者は、障がい児を対象に設置された特別支援学級に在籍する園児・児童・生徒等を登下校（登降園）及び通級時等に介助する該当児の保護者（市内に在住の者）で、交通費等の一部を補助する。 幼稚園 8人 小学校 23人（校外活動6人） 中学校 10人（校外活動1人） ※延べ人数
⑦ 発達障がい児の支援	発達障がい又はその疑いのある就学前の児童のための支援拠点として広島県東部及び岡山県西部の6市2町で共同運営する「こども発達支援センター」において、診断に基づいた医療的支援を行うとともに、継続的な支援が行えるよう、認定こども園、幼稚園、保育所等と連携を図ります。また、関係機関と支援ネットワークを構築し、途切れない支援をめざします。	●就学前の子どもの発達障害に関する相談、診療を実施した。 利用件数 2022年度 相談 629件、初診 694件、再診 1,749件 合計3,072件 ●福祉サービス利用に係る診断書等の作成、利用方法について、関係部署、医療機関と連携し、制度に伴う診断書等の利用の共有化を図った。 ●医師会、県、福山若草園、教育、福祉など関係機関との「福山市発達支援に関する連絡会議」を開催した。
⑧ 障がい児保育	障がいのある児童の保育を、市内にある全保育施設で行います。 職員の専門性を高め、児童一人ひとりにあった保育内容の充実に努めるとともに関係機関との連携をより充実します。	●保育の必要があり、集団保育が可能な児童について、全ての保育施設での受入れを行っている。 ●配慮を必要とする児童の発達保障において、職員の研修を実施するとともに、こども発達センターや療育機関などとの連携を図っている。 ●医療的ケア児の受け入れを行っている。
⑨ ことばの相談室	ことばや発達に課題のある児童を指導援助し、保護者の相談と支援を行います。地域の支援システムにおける相談室の役割を明確にし、支援体制の充実を図ります。	●相談支援実施施設利用人数 保育所：西山手97人、蔵王94人、ふたば119人、高西 77人 幼稚園：手城 63人、あけぼの101人、湯田 67人 こども園：伊勢丘 88人、大学附属 25人 合計 731人 ●障がい児保育・特別支援教育講演会参加施設（Web） ・7月1日…107施設参加 ・8月2日…200施設参加（備後圏域対象） ●利用保護者対象研修会（参集型） ・10月20日…76人

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑩ 障がい児の教育	教育・医療・福祉の連携のもと、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、個に応じた教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒の実態や就学前施設などでの状況、こども家庭センター、医療機関などと連携した総合的な判断による就学指導を行った。 ●市内一斉研修日を設け、授業研究を中心とした研修を行っている。特別支援学級担任の授業での生徒の姿から、指導支援の在り方等について協議した。 ●オンラインによる研修で実践交流や指導支援についての協議を行った。 ●介助員、学校支援員等を配置し、よりきめ細かな指導支援を行った。 ●児童生徒のアセスメントから、個に応じた目標や手立て等を明確にした個別の指導計画を作成し、保護者と共有した。
⑪ 特別支援教育体制推進事業	障がいのある児童生徒や支援の必要な児童生徒が、安心していきいきと学校生活を送れるよう、校内委員会を中心とした組織的な推進支援体制で特別支援教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市立の全ての幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校において特別支援教育コーディネーターの指名と校内委員会の設置を行い、学校全体での組織的な推進体制を継続した。 ●市内一斉研修日を設け、授業研究を中心とした研修を行った。校内または他校の特別支援学級担任が互いに授業を参観したり、児童生徒の困り感を解消するための具体的な手立て等について協議したりした。また、オンライン研修による実践交流を行った。 ●学校の要請に応じて学校訪問をする専門員が発達障害等にかかわる内容について指導助言を行う「巡回相談」を幼稚園7回、小学校等22回、中学校2回活用した。
⑫ 障がい福祉サービス等の充実	障がいのある児童の健やかな成長を支援し、地域で安心して生活できるよう、障がいの特性に応じた早期療育や居宅サービスの支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童発達支援 1,227人 ●医療型児童発達支援 12人 ●放課後等デイサービス 2,537人 ●保育所等訪問支援 31人 (2023年1月末利用実人数)
⑬ 水浴訓練事業	障がい児(者)の身体機能の向上を図るために、実技指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●水中活動講座(6回) 講義、実技指導、ヘルパー研修 ●団体を対象とした実技指導 6団体65回
⑭ 障がい者等相談支援事業(障がい者総合相談室・子ども発達相談室)	障がい児(者)が地域の中で安心して生活ができるよう障がいの特性に応じた細やかな相談支援を行います。	●従前の「障がい者総合相談室・子ども発達相談室」も含め、2013年度から福山市社会福祉協議会に基幹相談支援センターを委託し、児童に関する支援を実施している。「こども発達支援センター」は原則、就学前の児童を対象としており、「子ども発達相談室」では就学後の児童等を対象に相談支援を行っている。
⑮ 障がい児等療育支援事業	在宅障がい児(者)の地域での生活を支援するため、訪問又は外来療育指導等の療育訓練を行います。	●重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児(者)に対する訪問療育・外来療育と施設での支援を行った。 利用者数 3,269件(見込)
⑯ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	身体障がい者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入・更新・修理に係る費用の一部を助成します。	●原則両耳の聴力レベルが30デシベル以上の人に助成をした。 本人負担1/3 所得制限あり 給付台数23台

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

事業名	事業概要	2022年度実績
⑰ 通園施設利用者負担軽減事業	<p>障がい児通所支援に関する保護者の経済的負担の軽減を図ることで、早期療育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童発達支援等利用者の負担軽減225人（見込） 3歳までの市民税課税世帯に属する児童を対象に、児童発達支援等の利用料無償化 ● 障がい児通所支援利用者の食費負担軽減56人（見込） 障がい児通所支援を利用する児童の食費を一部補助
⑱ 療育相談	<p>幼児健康診査、相談等において、精神発達面の経過観察を必要とする子どもを対象に、今後の療育の方向づけを行うとともに、関係機関と連携のもと幼児の健全な発達に向けた、継続支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健事業実施課（健康推進課・松永保健福祉課・北部保健福祉課・東部保健福祉課・神辺保健福祉課・沼隈支所保健福祉担当）において、心理相談員・保育士・保健師による療育相談を実施した。 ● 一人ひとりの課題に応じて、関係機関と連携した一体的な支援（療育支援システム）を実施した。